

ふえきりゅうこう

Ⅳ-1 子育ての不易流行を考える

【エピソード】

ある日の夜、広末さんは夫とふたりでドラッグストアに出かけました。買い物をしていると小さな子どもたちを連れて若い親がお店に入ってきました。最初はおとなしくしていた子どもたちも、次第に店内を走り回り、床に寝ころんだりしはじめました。でも、親は注意する様子はありません。

次の日、孫を連れて遊びにきた息子に、広末さんはさっそく昨晚の出来事を話しました。

息子：「遅い時間に子どもをつきあわせるのはおかしいと思うけど、何か事情があったかもしれんよ。生活のスタイルやって昔と変わってきゆうし。」

広末：「夜遅く、子どもを連れ回すのは、子どもも疲れちよってかわいそうやったで。子どもには子どもの生活リズムがあるがよ。」

ワーク1

- 広末さんと息子のやりとりを聞いて、感じたことを自由に出し合いましょう。

ワーク2

- あなたが子育てしていた頃と、今の子育てや親について変わらないと感じることは何ですか？



ワーク3①

- あなたが子育てをしていた頃とくらべ、今の子育て環境や親の対応について変わったと感ずることは何ですか？

ワーク3②

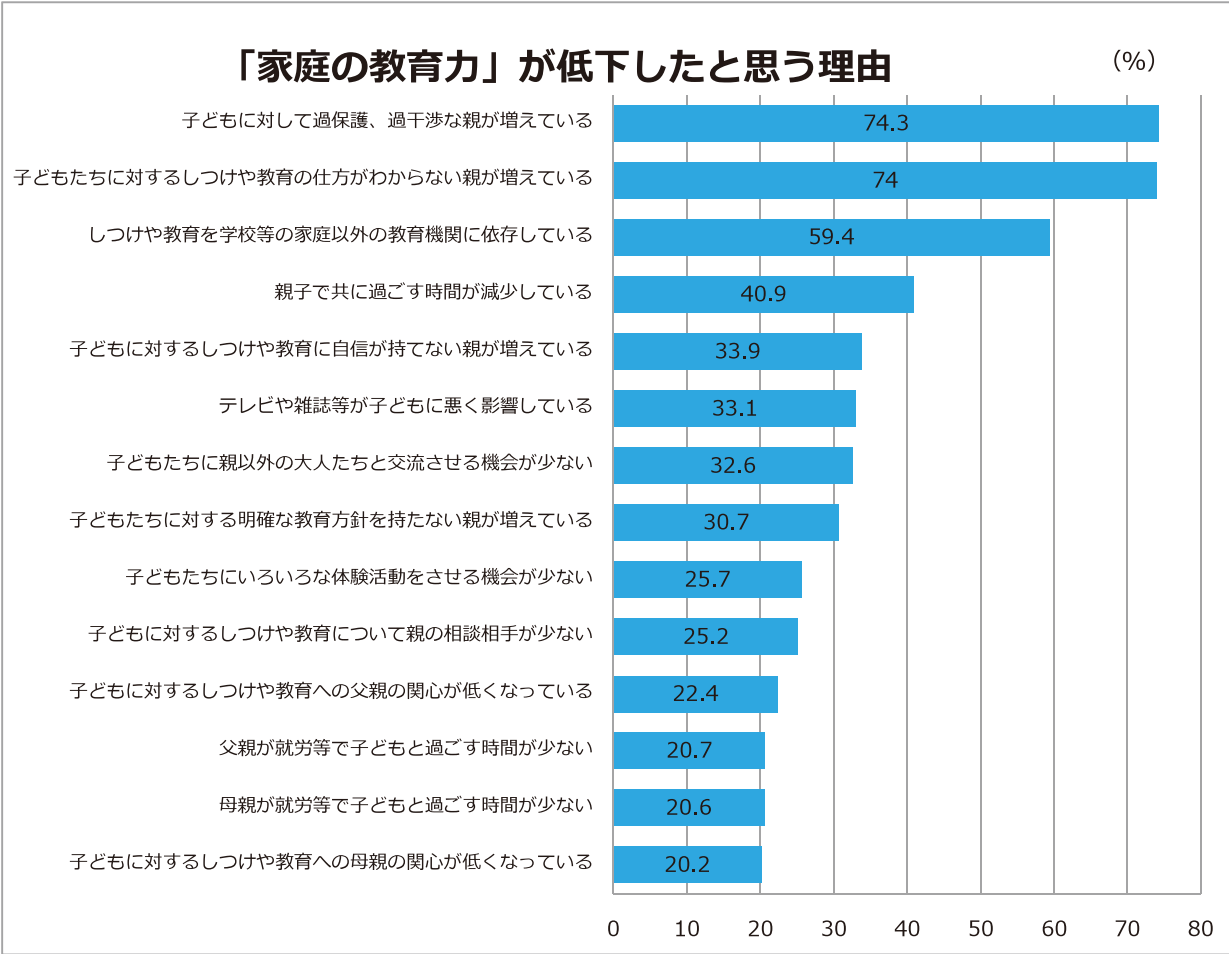
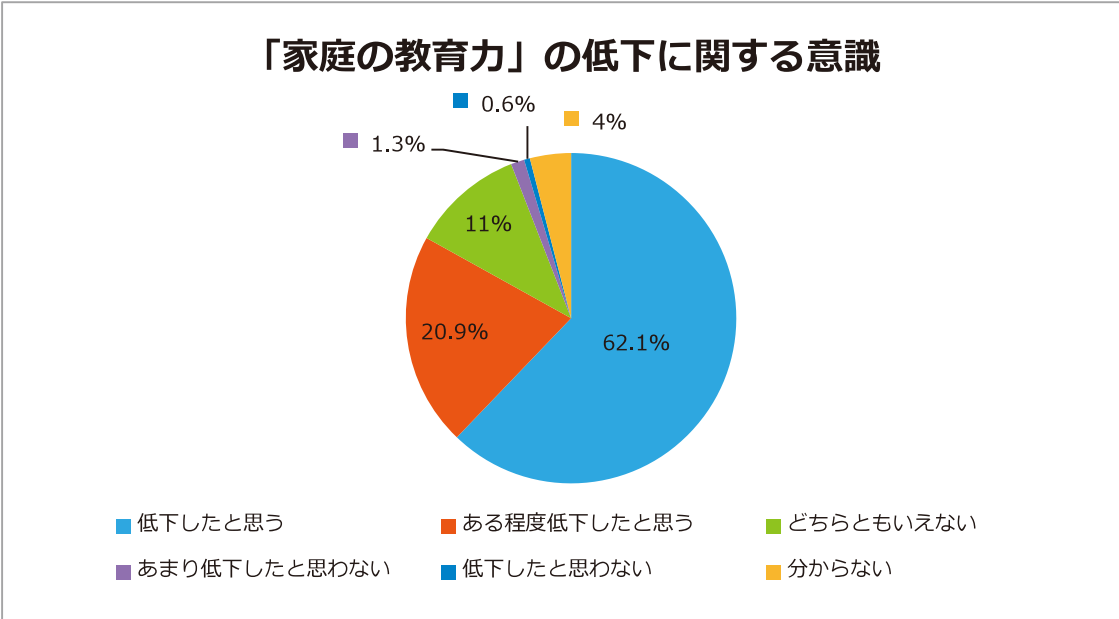
- 変わったと感ずることの背景は何だと思ひますか？
資料編の資料を参考にして、考へてみましょう。

ふりかへり

- 子どもや子育て家族を応援する地域の大人として、今日からできることは何ですか？



「家庭の教育力」の低下について



出典:平成19年度「家庭教育支援に係る地域の教育力の活性化に関する調査研究報告書」(国立教育政策研究所社会教育実践研究センター)

IV-1

子育ての不易流行を考える

対象：地域の大人
時間：60分程度

ねらい	現代的課題をふまえながら、子育ての不易流行を考え、親世代の子育てを応援する必要性について考える。		
実施のポイント (評価など)	○子育てや親のあり方に関して、変わらない点や変わった点について考え、共有することができる。 (親の批判にならないように注意する。) ○親の努力だけでは解決できない、社会的状況を理解することができる。		
事前準備	○資料 ○付箋紙 ○マーカー ○模造紙 ○記入用紙 ○筆記用具		
時 間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物
導 入 10分	ワークの趣旨説明 ○アイスブレイク	・ パースデーチェーン(P.83)をして、4～5人のグループ分けをする。	
展 開 5分	ワーク1 ・ エピソードを読む ・ グループで話し合う。	◎エピソードをもとに、日頃感じていることを出し合うことをねらいとする。 ・ プレインストーミングで自由に感じたことを出してもらおう。 ・ ファシリテーターは、感想が出ていないグループがないかチェックして、必要ならヒントを出す。	付箋紙 マーカー
10分	ワーク2 ・ 変わらないと感じることを付箋紙に記入する。 ・ グループで話し合い、発表する。	◎子育てや親について、変わらないことについて考え、共有することをねらいとする。 ・ 思いついたものを付箋紙に各自が記入して模造紙に貼りグルーピングする。 ・ グループで出た意見を、1分程度で発表し、共有する。	模造紙 タイマー
10分	ワーク3① ・ 変わったと感じることを付箋紙に記入する。 ・ グループで話し合い、発表する。	◎子育て環境や親の対応について、変わったことについて考え、共有することをねらいとする。 ・ 思いついたものを付箋紙に各自が記入して模造紙に貼りグルーピングする。 ・ グループで出た意見を、1分程度で発表し、共有する。	
15～20分	ワーク3② ・ 資料を参考に背景について考える。	◎親の努力だけでは解決できない、社会的状況を理解し、親世代の子育てを応援する必要性に気付くことをねらいとする。 ・ 環境の変化について理解できるように、じっくりと資料を使って考えることができるように説明する。	資料(P.76)
まとめ 10分	ふりかえり ・ できることを記入する。 ・ 発表し合い、共有する。	・ 個々が今日からできることを紙に書いてもらい、グループで紹介して共有する。	記入用紙 マーカー